6〔養護教諭〕

受験区分	受験番号	氏　　名

〔注意事項〕

1　試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

2　この試験は、コンピュータを利用して採点するため、解答用紙にていねいに鉛筆で記入してください。

3　解答用紙には解答記入欄以外に次の記入があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしてください。

(1)　受験区分・受験番号欄

受験区分・受験番号（数字）を受験票のとおりに記入し、さらにその下のマーク欄にマークしてください。正しくマークされていない場合には、採点できないことがあります。

(2)　氏名欄、校種等・教科（科目）欄

氏名・フリガナ及び校種等・教科（科目）を記入してください。なお、校種等・教科（科目）については、受験票のとおりに記入してください。

4　試験時間は60分です。

5　解答は、解答用紙の解答記入欄にマークしてください。例えば、[1]と表示のある解答番号に対して③と解答する場合は、次の（例）のように解答番号[1]の解答記入欄の③にマークしてください。

（例）

解答番号	解答記入欄 1 － 20
[1]	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

6　解答用紙の解答記入欄は、全部で、[100]まで記入できるようになっていますが、〔養護教諭〕試験の解答番号は1～50ですので、解答記入欄の[51]～[100]は絶対に記入しないでください。

7　どの問題も、解答番号一つにつき解答記入欄にマークできる答えは必ず一つです。二つ以上の番号にマークしたものは採点されません。

8　解答番号のマークを間違えたときは、消しゴムで完全に消してからマークしてください。

9　計算を要する問題は、問題用紙の余白を利用してください。解答用紙で計算しないでください。

10　問題の内容についての質問はできません。

〔1〕「学校保健安全法（平成 27 年 6 月改正）　第二章　学校保健」について、各問いに答えなさい。

問 1　次の記述は、「第二節　健康相談等」である。

空欄［ 1 ］、［ 2 ］に当てはまる最も適切なものを、後の①～⑤のうちから選びなさい。

解答番号は［ 1 ］、［ 2 ］。

（健康相談）

第八条　学校においては、児童生徒等の心身の健康に関し、健康相談を行うものとする。

（保健指導）

第九条　養護教諭その他の職員は、相互に連携して、健康相談又は児童生徒等の［ 1 ］の日常的な観察により、児童生徒等の心身の状況を把握し、健康上の問題があると認めるときは、遅滞なく、当該児童生徒等に対して必要な指導を行うとともに、必要に応じ、その保護者（学校教育法第十六条に規定する保護者をいう。第二十四条及び第三十条において同じ。）に対して必要な助言を行うものとする。

（地域の医療機関等との連携）

第十条　学校においては、［ 2 ］、健康相談又は保健指導を行うに当たつては、必要に応じ、当該学校の所在する地域の医療機関その他の関係機関との連携を図るよう努めるものとする。

①　健康診断　　②　救急処置　　③　生活態度

④　健康観察　　⑤　健康状態

問２　次の記述は、「第三節　健康診断」の一部である。空欄［ 3 ］、［ 4 ］に当てはまる最も適切なものを、後の①～⑥のうちから選びなさい。解答番号は［ 3 ］、［ 4 ］。

（就学時の健康診断）

（略）

第十二条　市町村の教育委員会は、前条の健康診断の結果に基づき、治療を勧告し、保健上必要な［ 3 ］を行い、及び学校教育法第十七条第一項に規定する義務の猶予若しくは免除又は［ 4 ］への就学に関し指導を行う等適切な措置をとらなければならない。

①　支援	②　特別支援学級	③　助言
④　通級指導教室	⑤　対策	⑥　特別支援学校

〔2〕 次の記述は、「教育職員免許法（令和４年５月改正） 附則」の一部である。
空欄 5 、 6 に当てはまる最も適切なものを、後の①～⑥のうちから選びなさい。
解答番号は 5 、 6 。

１４　養護教諭の免許状を有する者（ 5 以上養護をつかさどる主幹教諭又は養護教諭として勤務したことがある者に限る。）で養護をつかさどる主幹教諭又は養護教諭として勤務しているものは、当分の間、第三条の規定にかかわらず、その勤務する学校（幼稚園及び幼保連携型認定こども園を除く。）において、保健の教科の領域に係る事項（小学校、義務教育学校の前期課程又は特別支援学校の小学部にあつては、体育の教科の領域の一部に係る事項で 6 で定めるもの）の教授を担任する教諭又は講師となることができる。

① 三年　② 五年　③ 十年
④ 文部科学省令　⑤ 教育基本法　⑥ 学校教育法

〔3〕「児童、生徒、学生、幼児及び職員の健康診断の方法及び技術的基準の補足的事項及び健康診断票の様式例の取扱いについて（平成27年9月11日文部科学省事務連絡）　別紙」について、各問いに答えなさい。

問1　次のア～エは、「9　心臓の疾病及び異常の有無の検査（規則第7条第6項関係）」についての記述である。その記述の正誤の組合せとして最も適切なものを、後の①～④のうちから選びなさい。解答番号は［ 7 ］。

ア　検査に当たっては、あらかじめ保健調査等によって心臓の疾病等に関する既往症、現症等を把握しておくこと。

イ　検査は心電図検査のみを行うものとすること。

ウ　児童・生徒に、検査の目的や方法について説明し、検査に対する不安や緊張感を取り除くこと。

エ　心電図記録中に不整脈を見いだしたときは、別に、通常の倍以上の記録を行うこと。

① ア 正　イ 誤　ウ 正　エ 正
② ア 正　イ 正　ウ 誤　エ 正
③ ア 誤　イ 正　ウ 正　エ 誤
④ ア 正　イ 誤　ウ 正　エ 誤

問２　次の記述は、「10　尿の検査（規則第７条第７項関係）」の一部である。空欄［　ア　］～［　ウ　］に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、後の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は［　8　］。

（３）蛋白（たんぱく）尿は［　ア　］時間から［　イ　］時間後に陰転することがあるので、検尿は採尿後およそ［　ウ　］時間以内に行うことが望ましいこと。

①　ア　６　　イ　１２　　ウ　５
②　ア　６　　イ　１５　　ウ　６
③　ア　５　　イ　１２　　ウ　５
④　ア　５　　イ　１５　　ウ　５
⑤　ア　６　　イ　１２　　ウ　６

〔4〕 次の記述は、「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説　総則編（平成29年7月文部科学省）　第3章　教育課程の編成及び実施　第4節　児童の発達の支援」の一部である。空欄［ 9 ］、［ 10 ］に当てはまる最も適切なものを、後の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は［ 9 ］、［ 10 ］。

1　児童の発達を支える指導の充実

（1）学級経営，児童の発達の支援（第1章第4の1の（1））

（略）

学級経営に当たって，学級担任の教師は，校長や副校長，教頭の指導の下，学年の教師や［ 9 ］，さらに養護教諭など他の教職員と連携しながら学級経営を進めることが大切であり，開かれた学級経営の実現を目指す必要がある。また，充実した学級経営を進めるに当たっては，家庭や地域社会との連携を密にすることが大切である。特に保護者との間で，学級通信や保護者会，家庭訪問などによる相互の交流を通して，児童理解，児童に対する指導の在り方について共通理解をしておく必要がある。

全ての児童が学校や学級の生活によりよく適応し，豊かな人間関係の中で［ 10 ］な生活を築くことができるようにし，児童一人一人の興味や関心，発達や学習の課題等を踏まえ，児童の発達を支え，その資質・能力を高めていくことは重要なことである。

① 健全　② 有意義　③ 生徒指導の主任
④ 学年の主任　⑤ 安心安全

〔5〕 次の記述は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説　総則編（平成29年7月文部科学省）　第3章　教育課程の編成及び実施　第5節　学校運営上の留意事項」の一部である。空欄 11 ～ 13 に当てはまる最も適切なものを、後の①～⑧のうちから選びなさい。解答番号は 11 ～ 13 。

1　教育課程の改善と学校評価，教育課程外の活動との連携等

①　 11 の実施と学校評価との関連付け（第1章第5の1のア）

ア　各学校においては，校長の方針の下に，校務分掌に基づき教職員が適切に役割を分担しつつ，相互に連携しながら，各学校の特色を生かした 11 を行うよう努めるものとする。また，各学校が行う学校評価については，教育課程の編成，実施，改善が教育活動や学校運営の中核となることを踏まえ， 11 と関連付けながら実施するよう留意するものとする。

（略）

②　各分野における学校の全体計画等との関連付け（第1章第5の1のイ）

イ　教育課程の編成及び実施に当たっては，学校保健計画， 12 ，食に関する指導の全体計画，いじめの防止等のための対策に関する基本的な方針など，各分野における学校の全体計画等と関連付けながら，効果的な指導が行われるように留意するものとする。

（略）

②　教育課程外の学校教育活動と教育課程との関連（第1章第5の1のウ）

ウ　教育課程外の学校教育活動と教育課程の関連が図られるように留意するものとする。特に，生徒の自主的，自発的な参加により行われる部活動については，スポーツや文化，科学等に親しませ，学習意欲の向上や責任感，連帯感の涵養等，学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり，学校教育の一環として，教育課程との関連が図られるよう留意すること。その際，学校や地域の実態に応じ，地域の人々の協力，社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携などの運営上の工夫を行い， 13 な運営体制が整えられるようにするものとする。

①　年間指導計画　　②　学校安全計画　　③　系統的
④　カリキュラム・マネジメント　　⑤　組織的　　⑥　持続可能
⑦　保健室経営計画　　⑧　カリキュラム・デザイン

〔6〕 次の記述は、「学校における薬品管理マニュアル　令和４年度改訂（令和５年３月公益財団法人　日本学校保健会）　第２章　要指導医薬品・一般用医薬品の取扱い　１．要指導医薬品・一般用医薬品の取扱いの考え方及び管理時の対応　（２）組織体制と役割」の一部である。空欄［ 14 ］、［ 15 ］に当てはまる最も適切なものを、後の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は［ 14 ］、［ 15 ］。

４）養護教諭の役割

ａ．児童生徒の健康に関する情報の把握

養護教諭は、年度当初に保健調査票、学校生活管理指導表、保護者等からの連絡内容などにより、児童生徒の既往歴や［ 14 ］の有無などの情報を収集･把握しておきます。把握した児童生徒の情報については、学級担任及び学校医等にも伝え、共通理解に努めることが大切です。

（略）

ｂ．保健室の一般用医薬品の保管・管理

保健室は医療機関ではないため、学校における救急処置の範囲で使用する一般用医薬品のみ常備していることについて、児童生徒及び保護者等に周知しておきます。

保健室の一般用医薬品の使用、保管場所の温度や湿度の管理、［ 15 ］などの保管・管理及び廃棄方法などについては、学校医、学校歯科医又は学校薬剤師に相談し、その指導・助言のもとに行います。また、一般用医薬品管理簿などを活用して適切に管理するようにします。

①　アレルギー疾患　　②　精神疾患　　③　発達障害
④　施錠　　⑤　使用期限

〔7〕「学校保健の課題とその対応　－養護教諭の職務等に関する調査結果から－　－令和２年度改訂－（令和３年３月公益財団法人　日本学校保健会）　第２章　調査結果から見た学校保健の課題とその対応」について、各問いに答えなさい。

問１　次の記述は、「Ⅱ保健管理　１　救急処置　（６）養護教諭の役割　②校内研修の充実」である。空欄［16］、［17］に当てはまる最も適切なものを、後の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は［16］、［17］。

今回の調査では、全体の約14％の養護教諭が「救急処置に関する校内研修の企画」に取り組んでいなかった。学校管理下においては、傷病、事件・事故、災害等が発生した場合には、すみやかに適切な対応ができるようにしておかなければならない。そのためには、全ての教職員が基本的な応急手当に関する知識や技術を身に付け、確実で迅速な対応ができることが必要であることから、校内研修の実施が求められる。養護教諭は、校内研修の企画・実施に積極的に参画し、［16］としての役割を果たすことが大切である。

また、日頃から救急体制に関して教職員・児童生徒等・［17］に周知を図り、理解と協力を得ておくことが大切である。

①　保健センター　　②　専門的立場　　③　指導者
④　保護者等　　⑤　学校医等

問2　次の記述は、「Ⅲ　保健教育　（3）特別活動における保健の指導」の一部である。空欄 18 ～ 20 に当てはまる最も適切なものを、後の①～⑧のうちから選びなさい。解答番号は 18 ～ 20 。

4）養護教諭が学級活動等の授業へ参加することの意義

学級活動に限るものではないが、養護教諭が授業へ参加することの意義としては、次のようなことがある。

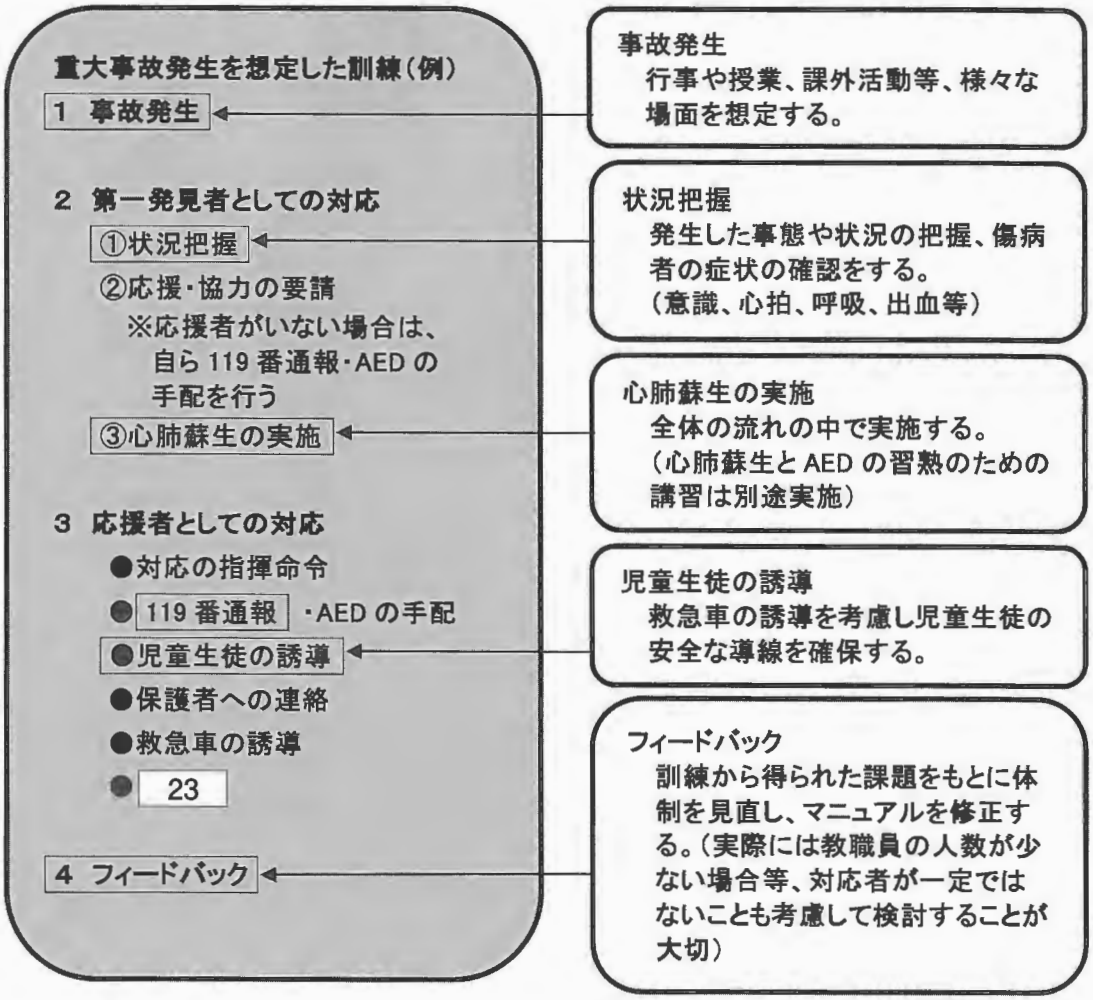
ｱ　児童生徒の健康実態や 18 を授業へ反映させることができる。

- ○　保健室には、毎日、健康に関する様々なデータが蓄積されていく。
- ○　例えば、健康診断や保健調査等による「集団としてのデータ」のみならず、保健室での 19 や学級担任からの情報提供等による「個としてのデータ」、さらには、養護教諭が独自に収集した最新の保健情報や知見等である。
- ○　養護教諭は、集団としてあるいは個としての児童生徒を両面から分析することができる立場にある。
- ○　こうして分析されたデータを授業づくりに生かすことによって、児童生徒の関心を高めて、 20 へと導いていくことができる。

①　キャリア形成	②　保健室利用状況	③　カウンセリング
④　主体的な学び	⑤　個別指導	⑥　課題解決
⑦　応急処置	⑧　生活実態	

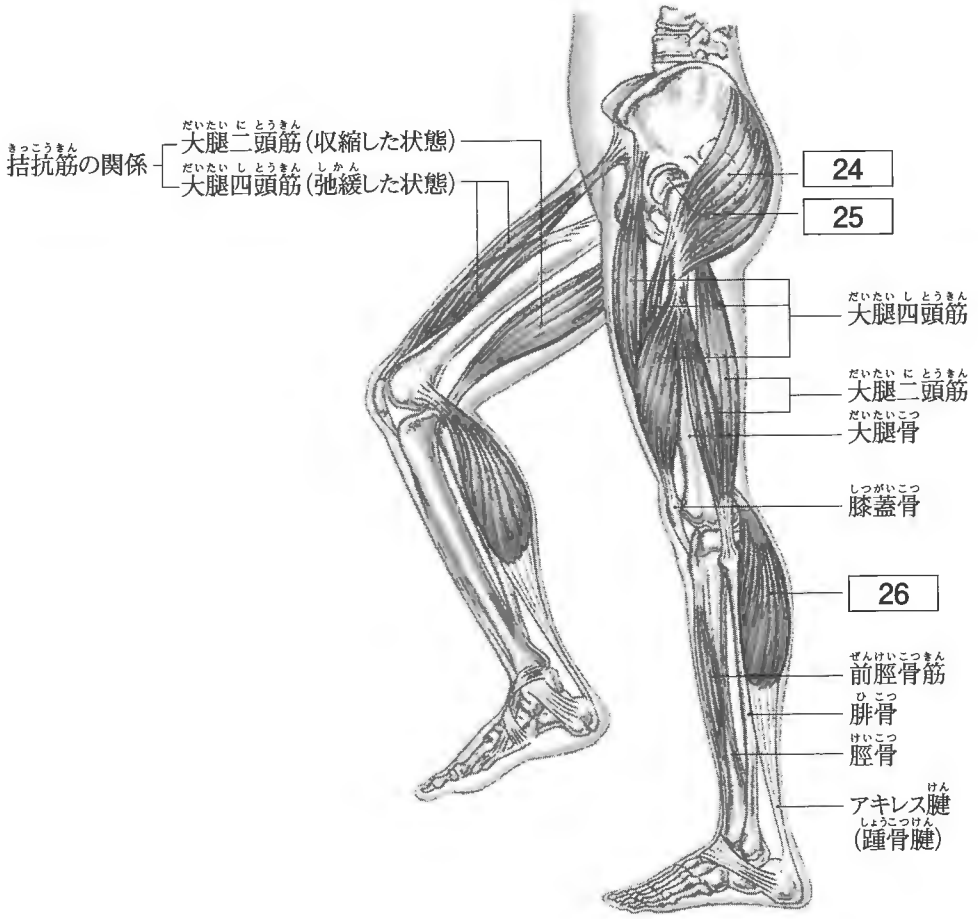
〔8〕 次の記述は、「心肺蘇生の実践とＡＥＤの活用～児童生徒の心臓突然死ゼロを目指して～（平成31年２月公益財団法人　日本学校保健会）　教職員の研修と訓練の実施」の一部である。空欄 21 ～ 23 に当てはまる最も適切なものを、後の①～⑧のうちから選びなさい。解答番号は 21 ～ 23 。

事故等が発生した際に、 21 な判断と適切な対応ができるようにするためには、危機管理意識を高め、危機管理体制の確認と整備を行うとともに、事故等を想定した訓練を実施しておくことが必要です。開催時期は、校内組織が替わり、児童生徒のクラス替え、教室の配置替え等が行われる年度当初が望ましく、 22 実施することが大切です。



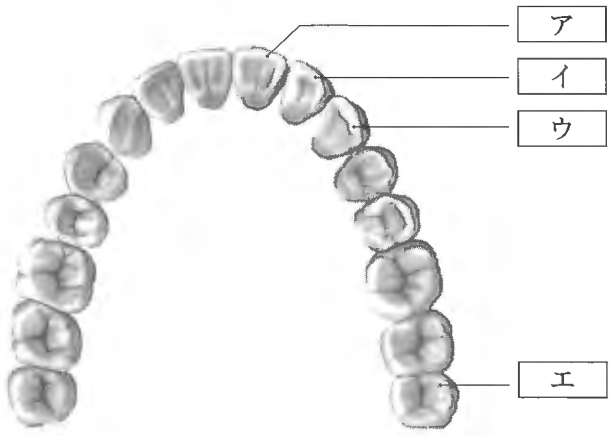
① 迅速　② 組織的　③ 毎年
④ 積極的に　⑤ 計画的に　⑥ 記録
⑦ 自主的　⑧ 目撃者のケア

〔9〕 次の図は、下肢のおもな骨と筋肉を示したものである。図の空欄 24 ～ 26 に当てはまる最も適切なものを、後の①～⑧のうちから選びなさい。解答番号は 24 ～ 26 。



① 腓腹筋　② 大殿筋（大臀筋）　③ 座骨
④ 半腱様筋　⑤ 大腿骨頭　⑥ 半膜様筋
⑦ 縫工筋　⑧ 大腿直筋

〔10〕 次の図は、人の歯の種類を示したものである。図の空欄［ ア ］～［ エ ］に当てはまるものの組合せとして最も適切なものを、後の①～⑤のうちから選びなさい。
解答番号は［ 27 ］。



①	ア	中切歯	イ	側切歯	ウ	第１小臼歯	エ 第３大臼歯
②	ア	側切歯	イ	中切歯	ウ	犬歯	エ 第１大臼歯
③	ア	中切歯	イ	犬歯	ウ	側切歯	エ 第１大臼歯
④	ア	側切歯	イ	犬歯	ウ	第１小臼歯	エ 第３大臼歯
⑤	ア	中切歯	イ	側切歯	ウ	犬歯	エ 第３大臼歯

〔11〕 人の自律神経についての記述として**適切ではないもの**を、次の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 28 。

① 自律神経は、交感神経と副交感神経に大別される。
② 自律神経系は、心筋や内臓、分泌腺、血管などの平滑筋を支配する神経系で、体内環境の恒常性の維持に働いている。
③ 交感神経は内臓に加え、全身の血管、皮膚の汗腺、立毛筋にも分布している。
④ 副交感神経線維は、頭仙系といわれ、脳幹と仙髄から起こる。
⑤ 交感神経と副交感神経は、常に同調的に働いている。

〔12〕 人の肝臓についての次の記述ア～エについて、その内容の正誤の組合せとして最も適切なものを、後の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は 29 。

ア 人体中最大の腺であり、消化腺の一つである。
イ 右葉と左葉に分かれ、右葉は左葉より小さい。
ウ グリコーゲンを貯蔵するはたらきがある。
エ 腹腔の上部右側、横隔膜の直下にある。

①	ア 正	イ 正	ウ 誤	エ 正
②	ア 正	イ 誤	ウ 正	エ 正
③	ア 誤	イ 正	ウ 正	エ 誤
④	ア 正	イ 誤	ウ 誤	エ 正
⑤	ア 誤	イ 正	ウ 正	エ 正

〔13〕 次の記述は、「改訂『生きる力』を育む高等学校保健教育の手引（令和３年３月文部科学省）第１章　総説　第２節　指導の基本的な考え方」の一部である。

空欄 30 ～ 32 に当てはまる最も適切なものを、後の①～⑧のうちから選びなさい。

解答番号は 30 ～ 32 。

１．高校生における心身の発育・発達等の特性を踏まえる

高校生期は，身体，［30］はもちろん，心身の全面にわたる発達が急激に進む時期である。また高校生期は，中学生より更に，親の［31］から離れ，自らの行動は自ら選択決定したいという独立や自律の要求が高まる時期である。また，集団の規律や［32］に従い，互いに協力しながら各自の責任を果たすことによって，集団や社会が成り立っていることを客観的に理解できる段階にある。保健教育では，以上のような発育・発達や健康上の特性を踏まえることが重要となる。

① 校則　② 精神面　③ 法律
④ 要求　⑤ 社会のルール　⑥ 依存
⑦ 生理面　⑧ 価値観

〔14〕「学校において予防すべき感染症の解説〈令和５年度改訂〉（令和６年３月公益財団法人日本学校保健会）」について、各問いに答えなさい。

問１　次の記述は、「Ⅱ　学校における感染症への対応　２．学校における感染症への対応」の一部である。空欄［ 33 ］、［ 34 ］に当てはまる最も適切なものを、後の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は［ 33 ］、［ 34 ］。

４）就学時の健康診断と感染症

市（特別区を含む。）町村の教育委員会は、就学時の健康診断を行い、就学時健康診断票を作成し、健康診断を受けた者の入学する学校の校長に送付しなければならない。感染症の予防には予防接種の果たす役割が大きいことから、就学時健康診断票には、［ 33 ］に規定されている定期の予防接種の接種状況を確認する欄がある。確認するべき定期の予防接種の対象は、インフルエンザ菌ｂ型感染症、肺炎球菌感染症、ポリオ（急性灰白髄炎）、ＢＣＧ、百日咳、ジフテリア、破傷風、麻しん、風しん、水痘、日本脳炎、［ 34 ］である（令和６（2024）年３月現在）。

学校は、感染症の発生防止及び集団発生の際の措置を行うに当たって、予防接種歴は重要な情報となることから、入学予定の幼児の予防接種歴を把握し、入学後、未接種の場合は予防接種にかかる情報提供等に活用する。

①　感染症予防法　　②　帯状疱疹　　③　ロタウイルス
④　Ｂ型肝炎　　⑤　予防接種法

問2　次の図は、「Ⅲ　感染症各論　2．第二種の感染症　4）流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）」の一部である。空欄 35 ～ 37 に当てはまる最も適切なものを、後の①～⑧のうちから選びなさい。解答番号は 35 ～ 37 。

病　原　体	35
潜 伏 期 間	主に 16–18 日（12–25 日）
感染経路・感染期間	飛沫感染、接触感染。 耳下腺等の唾液腺が腫脹する 1–2 日前から腫脹 5 日後までが最もウイルス排出量が多く、他への感染の可能性が高い。
症状・予後	全身の感染症だが耳下腺の腫脹が主症状で、顎下腺や舌下腺等も腫れる。腫れは 2–3 日でピークに達し、3–7 日間、長くても 10 日間で消える。痛みを伴い、酸っぱいものを飲食すると強くなる。また、約 100 人に 1 人が無菌性髄膜炎を、500–1,000 人に 1 人が不可逆性の難聴（片側性が多いが、時に両側性）を、3,000–5,000 人に 1 人が急性脳炎を併発する。急性膵炎を合併することもある。思春期以降では、 36 の合併が多い。
診　　断	臨床症状により診断されるが、確定のためには血液の抗体検査、ウイルス遺伝子診断、ウイルスの分離等が行われる。
治　　療	有効な治療薬はなく、対症療法が行われる。
予防法・ワクチン	ワクチンによる予防が可能。ワクチンによる無菌性髄膜炎は従来、2,000–3,000 人に 1 人と言われていたが、近年その報告頻度は低く 1–2 万人に 1 人程度になっている。急性脳炎の発症率は約 25 万人に 1 人と、自然感染時に比べ低い。 飛沫感染、接触感染として一般の予防法を励行するが、不顕性感染があり、発症者の隔離だけでは流行を阻止することはできない。
登校（園）基　　準	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後 37 を経過し、かつ全身状態が良好になるまで出席停止とする。

①　5 日　　②　ムンプスウイルス　　③　虫垂炎
④　3 日　　⑤　精巣炎　　⑥　アデノウイルス
⑦　心筋炎　　⑧　2 日

〔15〕「食に関する指導の手引　－第二次改訂版－（平成31年3月）文部科学省」について、各問いに答えなさい。

問1　次の記述は、「第1章　学校における食育の推進の必要性　第4節　学習指導要領の改訂」の一部である。空欄［38］、［39］に当てはまる最も適切なものを、後の①～⑤のうちから選びなさい。解答番号は［38］、［39］。

1　中央教育審議会の提言

（略）

健康・安全・食に関わる資質・能力（答申　別紙4）

○健康・安全・食に関する資質・能力を、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」の三つの柱に沿って整理すると、以下のようになると考えられる。

（知識・技能）

様々な健康課題、［38］や事件・事故等の危険性、健康・安全で安心な社会づくりの意義を理解し、健康で安全な生活や健全な食生活を実現するために必要な知識や技能を身に付けていること。

（思考力・判断力・表現力等）

自らの健康や食、安全の状況を適切に評価するとともに、必要な情報を収集し、健康で安全な生活や健全な食生活を実現するために何が必要かを考え、適切に［39］し、行動するために必要な力を身に付けていること。

（学びに向かう力・人間性等）

健康や食、安全に関する様々な課題に関心を持ち、主体的に、自他の健康で安全な生活や健全な食生活を実現しようとしたり、健康・安全で安心な社会づくりに貢献しようとしたりする態度を身に付けていること。

①　貧困問題　　②　意思決定　　③　自然災害

④　感染症　　⑤　選択

問２　次の記述は、「第５章　給食の時間における食に関する指導　第１節　学校給食とは　４　特別活動における学校給食の位置付け」の一部である。空欄 40 ～ 42 に当てはまる最も適切なものを、後の①～⑧のうちから選びなさい。解答番号は 40 ～ 42 。

（１）活動内容

特別活動では、「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」について、自分の食生活を見直し、自ら改善して、生涯にわたって望ましい食習慣が形成され、食事を通してよりよい人間関係や 40 が育まれるようにするものであることが求められています。

給食の時間は、楽しく食事をすること、健康に良い食事のとり方、給食時の清潔、食事環境の整備などに関する指導により、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通してよりよい人間関係の形成を図ります。そして、適切な給食時間を確保した上で、給食の準備から後片付けを通して、計画的・継続的に指導する必要があります。

また、食を取り巻く社会環境の変化により、栄養摂取の偏りや 41 といった食習慣の乱れに起因する肥満などの生活習慣病、食物アレルギー等の問題が指摘される現在、家庭との連携が今後更に重要になります。心身の健康に関する内容にとどまらず、自然の恩恵への感謝、 42 、食糧事情などについても各教科との関連を図りつつ指導を行うことが重要です。

① 欠食	② 責任感	③ 孤食
④ 社交性	⑤ 食文化	⑥ 地産地消
⑦ 食品ロス	⑧ 自立性	

〔16〕 次の記述は、「生徒指導提要（令和４年12月文部科学省） 第Ⅱ部 個別の課題に対する生徒指導 第12章 性に関する課題 12.3 性犯罪・性暴力に関する生徒指導の重層的支援構造」の一部である。空欄 43 ～ 45 に当てはまる最も適切なものを、後の①～⑧のうちから選びなさい。解答番号は 43 ～ 45 。

12.3.3 性的被害者の 43 のケア

性的虐待や性的被害などに遭遇した児童生徒は、 44 を引き起こすことも多く、 43 に及ぼす影響は深刻なものが多いため、慎重な対応が求められます。児童生徒の聴き取りも専門的な技術を要することから、早期に専門家に相談することが必要です。その上で、養護教諭、学級・ホームルーム担任、学校医、SC や SSW などが連携して援助していくとともに、関係機関や医療機関などと連携して対応に当たることが大切です。

性的虐待は、加害者が、保護者や家族・親族・同居人等、子供と近い関係性の者である場合や、子供自身も被害に遭っているという認識を持てていない場合もあり、表面化しにくく、発見しにくい虐待の一つです。被害に遭った子供の告白以外に発見できる可能性が低く、 45 証拠も少ないため、被害についての開示があった場合は、速やかに児童相談所等へ通告することが不可欠です。

① 残っている　② 不登校　③ 心身
④ 客観的な　⑤ 自傷行為　⑥ 決定的な
⑦ 心的外傷後ストレス障害（PTSD）　⑧ 発達

〔17〕「学校環境衛生管理マニュアル『学校環境衛生基準』の理論と実践［平成 30 年度改訂版］（文部科学省）　第Ⅱ章　学校環境衛生基準」について、各問いに答えなさい。

問 1　次の記述は、「第 1　教室等の環境に係る学校環境衛生基準　2　採光及び照明」の一部である。空欄 46 、 47 に当てはまる最も適切なものを、後の①～⑥のうちから選びなさい。解答番号は 46 、 47 。

検査項目	基　準
(10)　照度	(ア)　教室及びそれに準ずる場所の照度の下限値は、300 lx（ルクス）とする。また、教室及び黒板の照度は、500 lx 以上であることが望ましい。 (イ)　教室及び黒板のそれぞれの最大照度と最小照度の比は、20：1 を超えないこと。また、 46 を超えないことが望ましい。 (ウ)　コンピュータを使用する教室等の机上の照度は、500 ～ 1000 lx 程度が望ましい。 (エ)　テレビやコンピュータ等の画面の垂直面照度は、100 ～ 500 lx 程度が望ましい。 (オ)　その他の場所における照度は、工業標準化法（昭和 24 年法律第 185 号）に基づく日本工業規格（以下「日本工業規格」という。）Z 9110 に規定する学校施設の人工照明の照度基準に適合すること。

（略）

検査項目	基　準
(11)　まぶしさ	(ア)　児童生徒等から見て、黒板の外側 47 以内の範囲に輝きの強い光源（昼光の場合は窓）がないこと。 (イ)　見え方を妨害するような光沢が、黒板面及び机上面にないこと。 (ウ)　見え方を妨害するような電灯や明るい窓等が、テレビ及びコンピュータ等の画面に映じていないこと。

①　10：1　　②　13：1　　③　15：1
④　10°　　⑤　15°　　⑥　20°

問２　次の記述は、「第４　水泳プールに係る学校環境衛生基準」の一部である。

空欄 48 ～ 50 に当てはまる最も適切なものを、後の①～⑧のうちから選びなさい。

解答番号は 48 ～ 50 。

１　水泳プールに係る学校環境衛生基準は、次表の左欄に掲げる検査項目ごとに、同表の右欄のとおりとする。

	検査項目	基　準
水質	（１）　遊離残留塩素	48 mg/L 以上であること。また、1.0mg/L 以下であることが望ましい。
	（２）　pH 値	49 以上 8.6 以下であること。
	（３）　大腸菌	検出されないこと。
	（４）　一般細菌	１mL 中 50 コロニー以下であること。
	（５）　有機物等（過マンガン酸カリウム消費量）	12mg/L 以下であること。
	（６）　濁度	２度以下であること。
	（７）　総トリハロメタン	0.2mg/L 以下であることが望ましい。
	（８）　循環ろ過装置の処理水	循環ろ過装置の出口における濁度は、0.5 度以下であること。また、0.1 度以下であることが望ましい。

①　0.2　　②　0.3　　③　0.4

④　5.8　　⑤　6.8　　⑥　100

⑦　200　　⑧　300

令和６年度実施　横浜市公立学校教員採用候補者選考試験
教科専門試験［養護教諭］　　正答及び配点

解答番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
正答	⑤	②	③	⑥	①	④	①	①	③	②
配点	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
解答番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
正答	④	②	⑥	①	④	③	④	⑧	⑤	④
配点	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
解答番号	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
正答	①	③	⑥	②	⑤	①	⑤	⑤	②	⑦
配点	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
解答番号	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
正答	⑥	⑤	⑤	④	②	⑤	①	③	②	④
配点	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
解答番号	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
正答	①	⑤	③	⑦	④	①	⑤	③	④	⑦
配点	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2